

## 令和元年度 第2回新宿区産業振興会議 議事要旨

【日 時】 令和元年10月29日（火）午後6時～8時

【場 所】 B I Z新宿（区立産業会館） 多目的ホール

【出席者】 委 員：植田、遠山、長山、笠井、松尾、横倉、青木、富田、望田、遠藤各委員

事務局：菅野文化観光産業部長、村上産業振興課長、黒澤産業振興係長、桑野産業振興主査、江下主任

【欠席者】 太田委員、友成委員

【傍聴者】 なし

【配布資料】 省略

【内 容】

### 1 開会

### 2 委員委嘱

### 3 区長あいさつ

### 4 委員自己紹介

### 5 議事

#### (1) 会長の選出・会長あいさつ

新宿区産業振興会議規則第4条の規定に基づき、互選により植田委員を会長として選出した。

#### (2) 副会長選出

新宿区産業振興会議規則第4条の規定に基づき、会長が遠山委員および長山委員を副会長に指名した。

#### (3) 新宿区の計画体系について

資料2に基づき、事務局より説明した。

#### (4) 産業振興プランに掲げる施策の方向と区の施策

資料3に基づき、事務局より説明した。

### 6 主な発言内容

産業振興プランに掲げる施策の方向と区の施策について

- ・産業振興プランに掲げる施策の方向では、中小企業振興に向けて必要な支援が記載されているが、区だけでなく様々な機関が行っているため、区が主体的に支援するところと他の機関が主体的に支援するところを分け、メリハリを付けていくことも大事ではないか。施策によっては、区が主体的にはやらないと示していくことも必要。
- ・事業承継を進めていくためには、まずは、販路開拓支援や取引先を増やし、黒字企業にしてあげることが重要。まずは、その点を改善していきながら魅力ある承継したい企業に育てるような企画を考えていくことで、より事業承継が促進されるのではないか。
- ・事業承継は非常に大きな課題であるため、企業の状況や抱えている問題に合わせてきめ細やかな支援を行わなければならない。「平成28年度新宿区産業と企業等の事業活動に関する調査」の調査対象企業に対し、事業承継に関する情報をピンポイントで提供していくことも必要ではないか。
- ・オープンデータ化については、区が主導というよりも、事業者側から必要なデータを区に伝えていくことが必要であり、区役所全体で進めていかなければならない。
- ・一括りで創業支援を考えるのではなく、事業承継を通じて後継者が第二創業をするなど、違った形で主体を形成することもある。新宿区の情報集積力を生かして民間の支援機関と連携し、創業の入口から出口まで一貫した支援を行えると良い。

## 7 次回日程について (予定)

産業振興会議

日 時：令和2年2月

会 場：B I Z新宿

## 8 閉 会